



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社G7ホールディングス
 コード番号 7508 URL <https://www.g-7holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 金田 達三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 岸本 安正

TEL 078-797-7705

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月11日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 132,642 | 8.3 | 5,783 | 15.3 | 5,995 | 19.5 | 3,523 | 15.8 |
| 2019年3月期 | 122,502 | 2.2 | 5,017 | 16.0 | 5,019 | 9.9 | 3,041 | 14.8 |

(注) 包括利益 2020年3月期 3,559百万円 (21.2%) 2019年3月期 2,935百万円 (6.3%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年3月期 | 145.46 | | 17.0 | 13.0 | 4.4 |
| 2019年3月期 | 125.56 | | 16.5 | 11.6 | 4.1 |

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 47,886 | 22,018 | 45.9 | 907.34 |
| 2019年3月期 | 44,691 | 19,502 | 43.6 | 803.76 |

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,976百万円 2019年3月期 19,467百万円

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年3月期 | 5,057 | 2,615 | 506 | 16,465 |
| 2019年3月期 | 5,740 | 1,700 | 803 | 14,518 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年3月期 | | 35.00 | | 43.00 | 78.00 | 944 | 31.1 | 5.1 |
| 2020年3月期 | | 43.00 | | 23.50 | | 1,089 | 30.9 | 5.3 |
| 2021年3月期(予想) | | 25.00 | | 25.00 | 50.00 | | 30.3 | |

(注) 1. 2020年3月期期末配当の内訳(普通配当21円50銭、特別配当2円00銭)

(注) 2. 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 170,000 | 28.2 | 6,700 | 15.9 | 7,000 | 16.7 | 4,000 | 13.5 | 165.15 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期 | 26,672,800 株 | 2019年3月期 | 26,672,800 株 |
| 2020年3月期 | 2,451,726 株 | 2019年3月期 | 2,451,636 株 |
| 2020年3月期 | 24,221,080 株 | 2019年3月期 | 24,221,191 株 |

(注)当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び期中平均株式数を算定しております。

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 11,239 | 124.0 | 7,815 | 389.2 | 7,745 | 419.2 | 6,425 | 320.8 |
| 2019年3月期 | 5,018 | 4.4 | 1,597 | 7.5 | 1,492 | 22.2 | 1,527 | 73.8 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 265.30 | |
| 2019年3月期 | 63.04 | |

(注)当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 25,888 | 12,764 | 49.3 | 527.00 |
| 2019年3月期 | 20,615 | 7,297 | 35.4 | 301.27 |

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,764百万円 2019年3月期 7,297百万円

(注)当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

< 個別業績の前期実績値との差異の理由 >

2020年3月期の個別業績につきまして、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益が増加した主な要因は、連結子会社からの受取配当金が前期に比べ6,163百万円増加したことによるものであります。なお、連結子会社からの受取配当金につきましては、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はありません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記及び資料に記載した業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものであります。実際の業績は様々な重要な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1.経営成績等の概況(1)経営成績に関する分析、次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象報) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用環境の改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移してございましたものの、相次ぐ自然災害、消費税増税、米中貿易摩擦の長期化に加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公衆衛生上の緊急事態等の影響により、先行きは厳しい状況となっております。

小売業界におきましては、消費者の根強い節約志向やライフスタイルの変化による販売チャネルの多様化、人手不足の深刻化、消費税増税による影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による消費者の外出の自粛等により、経営環境が一段と厳しくなっております。

このような経営環境のなかで、当社グループは人づくり、組織づくりの再構築を図ると共に、売上から利益重視の生産性向上を図り、収益力の拡大に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 132,642百万円（前連結会計年度比 8.3%増）、営業利益は 5,783百万円（同 15.3%増）、経常利益は 5,995百万円（同 19.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 3,523百万円（同 15.8%増）の増収増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

オートボックス・車関連事業につきましては、安全運転に対する意識の高まりからドライブレコーダーの販売が好調に推移しました。しかしながら、10月より実施された消費税増税後の駆け込み需要の反動減や記録的な暖冬により、スタッドレスタイヤやタイヤチェーン等の冬季販売商品の需要が伸び悩みました。出店につきましては、「オートボックス」を千葉県に1店舗（市原店）、広島県に1店舗（三原店）、マレーシアに1店舗（オールドクランロード店）オープンしました。「バイクワールド」の出店につきましては、マレーシアに1店舗（オールドクランロード店）オープンし、愛知県に1店舗（名古屋みなと店）移転オープンしました。これにより、売上高は 37,486百万円（前連結会計年度比 1.3%減）、営業利益は 1,948百万円（同 1.8%減）となりました。

業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、品質のよい商品をリーズナブルな価格で提供する業務スーパーおよび精肉販売のテラバヤシが好調に推移しました。またメディアによる業務スーパー商品の紹介等により新規顧客の来店にも繋がりました。出店につきましては、「業務スーパー」を東京都に2店舗（深大寺東町店、たかの台店）、神奈川県に2店舗（逗子店、二宮中里店）、岐阜県に1店舗（岩地店）、愛知県に1店舗（尾張瀬戸店）、千葉県に2店舗（川間店、成田店）、福岡県に1店舗（筑紫野店）、北海道に1店舗（小樽店）オープンしました。

「テラバヤシ」の出店につきましては、福島県に1店舗（福島栄町店）、東京都に2店舗（深大寺東町店、たかの台店）、兵庫県に3店舗（加古川店、花田店、下手野店）、岐阜県に1店舗（岩地店）、神奈川県に1店舗（二宮中里店）、愛知県に1店舗（尾張瀬戸店）、千葉県に2店舗（川間店、成田店）、北海道に1店舗（小樽店）オープンしました。これにより、売上高は 90,202百万円（前連結会計年度比 12.7%増）、営業利益は 3,596百万円（同 21.0%増）となりました。

その他事業の出店につきましては、農産物直売所「めぐみの郷」を大阪府に4店舗（平野店、貝塚店、堺東店、羽曳野店）、東京都に2店舗（深大寺東町店、たかの台店）、岐阜県に1店舗（岩地店）、神奈川県に2店舗（二宮中里店、鴨居店）、愛知県に1店舗（尾張瀬戸店）、千葉県に2店舗（川間店、成田店）、ステーキチェーン店「いきなり！ステーキ」を大阪府に2店舗（富田林店、堺インター店）、台湾に1店舗（シティリンク南港店）、ブランドリサイクルショップ「キングラム」を兵庫県に1店舗（イオン西宮店）オープンし、健康体操教室「Curves」を神奈川県で1店舗（横浜すすき野店）譲受けました。これにより、売上高は 4,954百万円（前連結会計年度比 9.4%増）、営業利益は 152百万円（同271.9%増）となりました。

(次期の見通し)

次期の見通しにつきましては、企業収益の回復や雇用環境の改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しておりますものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、先行きは厳しい状況となっております。小売業界におきましては、消費者の根強い節約志向や販売チャネルの多様化、人手不足の深刻化、消費税増税の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による消費者の外出の自粛等により、経営環境は一段と厳しくなるものと予想されます。このような経営環境のもと、当社グループは、人づくり、組織づくりの再構築を図ると共に、売上から利益重視の生産性向上を図り、稼ぐ力に更に磨きをかけて収益力を拡大し市場変動にも強い経営システムと多角的な事業展開により、安定的な成長が見込める企業体制の構築に努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高は 170,000百万円（前連結会計年度比 28.2%増加）、営業利益は 6,700百万円（同 15.9%増加）、経常利益は 7,000百万円（同 16.7%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は 4,000百万円（同 13.5%増加）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、緊急事態宣言下にある4月度時点での影響に鑑み当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当社市場に想定以上の悪影響を及ぼし業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

(2) 財政状態に関する分析

(資産、負債、純資産の状況)

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 3,195百万円増加し、47,886百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 679百万円増加し、25,868百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 2,515百万円増加し、22,018百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 1,946百万円増加し、当連結会計年度末の資金は 16,465百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は 5,057百万円（前期は 5,740百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が 5,307百万円、減価償却費が 1,539百万円、仕入債務の増加額が 601百万円あったこと等による資金の増加と、法人税等の支払額が 3,534百万円あったこと等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は 2,615百万円（前期は 1,700百万円の減少）となりました。これは主に、業務スーパー店舗等を新規出店したこと等による有形固定資産の取得による支出が 1,808百万円あったこと等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は 506百万円（前期は 803百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増額が 1,250百万円あったこと等による資金の増加と長期借入金の返済による支出が 706百万円、配当金の支払額が 1,039百万円あったこと等による資金の減少によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|---------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 38.1 | 40.8 | 41.7 | 43.6 | 45.9 |
| 時価ベースの 自己資本比率 (%) | 43.0 | 81.0 | 71.8 | 63.2 | 117.3 |
| キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年) | 2.2 | 2.3 | 1.6 | 1.5 | 1.9 |
| インタレスト・カバレッジ・ レシオ (倍) | 99.3 | 77.3 | 94.6 | 88.4 | 191.3 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、中長期にわたる安定成長と財務基盤の確立を経営の基本方針としております。株主の皆様への利益配分につきましては、安定配当の継続を前提に、業績に応じた利益還元を実施すべく努力しており、将来の事業展開のための再投資、財務基盤の強化に努めるなかで総合的に勘案して決定してまいります。

このような方針のもと、当期の配当につきましては、中間配当金を1株当たり43円、期末配当金は、普通配当として1株につき21円50銭、当期の業績に基づく特別配当金として2円の合計23円50銭といたします。

なお、当社は、2020年1月1日付をもって、普通株式を1株につき2株の割合をもって株式分割しており、期末配当金は、株式分割後の発行済株式数により算出しております。

また、次期の配当金については、1株当たり中間期末25円、期末25円(年間50円)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、海外での事業展開の進捗を踏まえつつ国際会計基準の適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,518 | 16,465 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,773 | 3,195 |
| 商品及び製品 | 5,767 | 5,602 |
| その他 | 1,521 | 1,788 |
| 貸倒引当金 | △5 | △11 |
| 流動資産合計 | 24,575 | 27,040 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 19,462 | 19,836 |
| 減価償却累計額 | △12,704 | △13,380 |
| 建物及び構築物(純額) | 6,758 | 6,456 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,494 | 1,495 |
| 減価償却累計額 | △1,085 | △1,060 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 409 | 435 |
| 土地 | 5,015 | 5,015 |
| 建設仮勘定 | 1 | 328 |
| その他 | 4,876 | 5,150 |
| 減価償却累計額 | △3,768 | △4,109 |
| その他(純額) | 1,108 | 1,041 |
| 有形固定資産合計 | 13,293 | 13,276 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 150 | 67 |
| その他 | 263 | 339 |
| 無形固定資産合計 | 414 | 407 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 510 | 620 |
| 敷金及び保証金 | 3,960 | 4,421 |
| 繰延税金資産 | 1,707 | 1,870 |
| その他 | 759 | 546 |
| 貸倒引当金 | △530 | △296 |
| 投資その他の資産合計 | 6,408 | 7,162 |
| 固定資産合計 | 20,115 | 20,846 |
| 資産合計 | 44,691 | 47,886 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,131 | 6,742 |
| 短期借入金 | 7,456 | 8,006 |
| 未払法人税等 | 1,317 | 433 |
| 賞与引当金 | 866 | 1,055 |
| ポイント引当金 | 24 | - |
| その他 | 3,738 | 3,925 |
| 流動負債合計 | 19,534 | 20,163 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,348 | 1,342 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 42 | 42 |
| 役員退職慰労引当金 | 731 | 731 |
| 資産除去債務 | 1,736 | 1,766 |
| 退職給付に係る負債 | 615 | 712 |
| その他 | 1,181 | 1,110 |
| 固定負債合計 | 5,654 | 5,705 |
| 負債合計 | 25,188 | 25,868 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,785 | 1,785 |
| 資本剰余金 | 2,905 | 2,905 |
| 利益剰余金 | 16,137 | 18,616 |
| 自己株式 | △725 | △725 |
| 株主資本合計 | 20,102 | 22,582 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10 | 93 |
| 土地再評価差額金 | △514 | △514 |
| 為替換算調整勘定 | △142 | △164 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 11 | △20 |
| その他の包括利益累計額合計 | △634 | △605 |
| 非支配株主持分 | 34 | 41 |
| 純資産合計 | 19,502 | 22,018 |
| 負債純資産合計 | 44,691 | 47,886 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高 | 122,502 | 132,642 |
| 売上原価 | 90,268 | 98,411 |
| 売上総利益 | 32,233 | 34,231 |
| 販売費及び一般管理費 | 27,216 | 28,447 |
| 営業利益 | 5,017 | 5,783 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 4 |
| 受取配当金 | 7 | 4 |
| 受取手数料 | 173 | 168 |
| 協賛金収入 | 130 | 143 |
| その他 | 78 | 78 |
| 営業外収益合計 | 405 | 399 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 70 | 29 |
| 固定資産処分損 | 56 | 37 |
| 為替差損 | 58 | 9 |
| 貸倒引当金繰入額 | 189 | 80 |
| その他 | 28 | 30 |
| 営業外費用合計 | 403 | 186 |
| 経常利益 | 5,019 | 5,995 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 164 | — |
| 資産除去債務戻入益 | — | 56 |
| 受取保険金 | 148 | 34 |
| 特別利益合計 | 313 | 91 |
| 特別損失 | | |
| 店舗閉鎖損失 | 48 | 25 |
| 投資有価証券評価損 | 55 | 211 |
| 減損損失 | 261 | 519 |
| 災害による損失 | 69 | 22 |
| 特別損失合計 | 435 | 779 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,897 | 5,307 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,918 | 1,962 |
| 法人税等調整額 | △123 | △185 |
| 法人税等合計 | 1,795 | 1,777 |
| 当期純利益 | 3,101 | 3,529 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 60 | 6 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,041 | 3,523 |

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 当期純利益 | 3,101 | 3,529 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △178 | 82 |
| 為替換算調整勘定 | △29 | △21 |
| 退職給付に係る調整額 | 41 | △31 |
| その他の包括利益合計 | △166 | 29 |
| 包括利益 | 2,935 | 3,559 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,875 | 3,552 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 60 | 6 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,785 | 2,757 | 14,016 | △725 | 17,834 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △920 | | △920 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,041 | | 3,041 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | 147 | | △0 | 147 |
| 自己株式の取得 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 147 | 2,120 | △0 | 2,268 |
| 当期末残高 | 1,785 | 2,905 | 16,137 | △725 | 20,102 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 188 | △514 | △113 | △29 | △468 | 367 | 17,732 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △920 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 3,041 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | △392 | △245 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △178 | - | △29 | 41 | △166 | 60 | △105 |
| 当期変動額合計 | △178 | - | △29 | 41 | △166 | △332 | 1,769 |
| 当期末残高 | 10 | △514 | △142 | 11 | △634 | 34 | 19,502 |

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,785 | 2,905 | 16,137 | △725 | 20,102 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,041 | | △1,041 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,523 | | 3,523 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | △2 | | △2 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 2,479 | △0 | 2,479 |
| 当期末残高 | 1,785 | 2,905 | 18,616 | △725 | 22,582 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 10 | △514 | △142 | 11 | △634 | 34 | 19,502 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △1,041 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 3,523 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | | △2 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 82 | - | △21 | △31 | 29 | 6 | 35 |
| 当期変動額合計 | 82 | - | △21 | △31 | 29 | 6 | 2,515 |
| 当期末残高 | 93 | △514 | △164 | △20 | △605 | 41 | 22,018 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|---------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,897 | 5,307 |
| 減価償却費 | 1,673 | 1,539 |
| のれん償却額 | 46 | 48 |
| 減損損失 | 261 | 519 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 67 | △228 |
| 店舗閉鎖損失 | 48 | 25 |
| 災害損失 | 69 | 22 |
| 受取保険金 | △148 | △34 |
| 資産除去債務戻入益 | — | △56 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 190 | 188 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △119 | △24 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 11 | 96 |
| 受取利息及び受取配当金 | △22 | △8 |
| 支払利息 | 70 | 29 |
| 有形固定資産除却損 | 56 | 37 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △164 | △6 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 55 | 211 |
| 差入保証金の増減額(△は増加) | △23 | △111 |
| 為替差損益(△は益) | 58 | 9 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △57 | △407 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 48 | 162 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △159 | 335 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △24 | 601 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 12 | 27 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 215 | 140 |
| その他 | △10 | 150 |
| 小計 | 7,052 | 8,574 |
| 利息及び配当金の受取額 | 22 | 8 |
| 利息の支払額 | △64 | △26 |
| 保険金の受取額 | 75 | 34 |
| 法人税等の支払額 | △1,345 | △3,534 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,740 | 5,057 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,384 | △1,808 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 407 | 6 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △351 | △252 |
| 子会社株式の取得による支出 | △157 | — |
| 子会社の清算による収入 | — | 27 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 20 | — |
| 貸付けによる支出 | △294 | △28 |
| 貸付金の回収による収入 | 282 | 4 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △170 | △435 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 93 | 43 |
| 預り保証金の受入による収入 | 43 | 15 |
| その他の支出 | △190 | △189 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,700 | △2,615 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,875 | 1,250 |
| 長期借入れによる収入 | 1,357 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,861 | △706 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △245 | — |
| 自己株式の取得による支出 | — | △0 |
| 配当金の支払額 | △918 | △1,039 |
| その他の支出 | △11 | △11 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △803 | △506 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | △1 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 3,239 | 1,933 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,279 | 14,518 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 12 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 14,518 | 16,465 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的な検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、車(四輪・二輪)関連用品・部品・車両販売を行う「オートボックス・車関連事業」、冷凍食品・加工食品販売・精肉販売と厳選食品の卸販売を行う「業務スーパー・こだわり食品事業」を主に事業活動を展開しております。

したがって、「オートボックス・車関連事業」及び「業務スーパー・こだわり食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務 諸表 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|-------------------|---------------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | オートバックス・ 車関連事業 | 業務スーパー・こ だわり食品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 37,961 | 80,012 | 117,974 | 4,527 | 122,502 | — | 122,502 |
| セグメント間の内 部売上高 又は振替高 | 4 | 49 | 54 | 44 | 99 | △99 | — |
| 計 | 37,966 | 80,062 | 118,028 | 4,572 | 122,601 | △99 | 122,502 |
| セグメント利益 | 1,983 | 2,972 | 4,955 | 41 | 4,996 | 20 | 5,017 |
| セグメント資産 | 20,162 | 17,593 | 37,756 | 4,267 | 42,023 | 2,668 | 44,691 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 596 | 721 | 1,317 | 291 | 1,608 | 65 | 1,673 |
| 減損損失 | 71 | 85 | 157 | 104 | 261 | — | 261 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額 | 460 | 649 | 1,110 | 509 | 1,620 | 52 | 1,672 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レストラン事業、アグリ事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 20百万円は、セグメント間取引消去 1,315百万円及び全社費用 △1,294百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額 2,668百万円は、セグメント間取引に係る債権消去 △1,995百万円及び全社資産 4,664百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社における余資運用資金(現預金)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額 65百万円は、全社資産に係る償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 52百万円は、全社資産の増加額であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。また減価償却費・減損損失・有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る償却費、減損損失及び増加額が含まれております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務 諸表 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|-------------------|---------------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | オートバックス・ 車関連事業 | 業務スーパー・こ だわり食品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 37,486 | 90,202 | 127,688 | 4,954 | 132,642 | — | 132,642 |
| セグメント間の内 部売上高 又は振替高 | 4 | 49 | 54 | 39 | 93 | △93 | |
| 計 | 37,490 | 90,251 | 127,742 | 4,994 | 132,736 | △93 | 132,642 |
| セグメント利益 | 1,948 | 3,596 | 5,544 | 152 | 5,697 | 85 | 5,783 |
| セグメント資産 | 17,755 | 17,389 | 35,144 | 3,951 | 39,095 | 8,790 | 47,886 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 534 | 645 | 1,179 | 293 | 1,473 | 65 | 1,539 |
| 減損損失 | 86 | 22 | 108 | 411 | 519 | — | 519 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額 | 593 | 874 | 1,467 | 247 | 1,715 | 412 | 2,128 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、アグリ事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 85百万円は、セグメント間取引消去 1,408百万円及び全社費用 △1,323百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額 8,790百万円は、セグメント間取引に係る債権消去 △2,557百万円及び全社資産 11,348百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社における余資運用資金(現預金)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額 65百万円は、全社資産に係る償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 412百万円は、全社資産の増加額であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。また減価償却費・減損損失・有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る償却費、減損損失及び増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 803.76円 | 907.34円 |
| 1株当たり当期純利益 | 125.56円 | 145.46円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 |

(注) 1. 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 3,041 | 3,523 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 3,041 | 3,523 |
| 期中平均株式数(千株) | 24,221 | 24,221 |

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

企業結合の概況

①被取得企業の名称及びその事業の内容、規模

| | |
|----------|-----------------------|
| 被取得企業の名称 | 株式会社99イチバ |
| 事業の内容 | ミニスーパー「mini ピアゴ」の店舗運営 |
| 資本金の額 | 100百万円 |

②企業結合を行った主な理由

当社グループは、子会社を通じフランチャイジーとして業務スーパー事業の展開や、農産物直売所「めぐみの郷」の店舗展開、精肉の販売、こだわり食品の卸事業を行っております。株式会社99イチバは狭商圏対応のミニスーパー「mini ピアゴ」等を首都圏中心にドミナント出店を進め、現在は東京・神奈川に73店舗を展開しております。当社グループは株式会社99イチバを子会社にすることで、首都圏での店舗拡大をはかり、食品関連の事業において、多くのシナジー効果が期待できることから、株式取得を決定いたしました。

③企業結合日

2020年4月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社99イチバ

⑥取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(2020年4月1日取得)

| | |
|---------|----------|
| 取得株式数 | 16,000株 |
| 取得価額 | 1,000百万円 |
| 取得後持分比率 | 80% |

(2022年4月1日取得予定)

| | |
|---------|--------|
| 取得株式数 | 4,000株 |
| 取得価額 | 250百万円 |
| 取得後持分比率 | 100% |

⑦支払資金の調達方法

自己資金及び借入金

⑧発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

⑨企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。